

Fuji Sankei BUSINESS i.

2015(平成27)年

4|14[火]

<日刊20883号>

☆フジサンケイビジネスアイ

免疫を高める「食」と「農業」シンポジウム

日本豊受自然農

食と健康への関心が高まる中、「第4回日本の農業と食シンポジウムin名古屋 免疫を高める食と農業～病気にならない食、病気にならない農業～」(主催:日本豊受自然農株式会社)が4日、名古屋市で開催された。同シンポジウムは、無農薬、無化学肥料、自家採種のこだわりの自然農法を社会に提唱、無農薬野菜等を生産、販売する日本豊受自然農(代表 由井寅子)が主催して毎年開催している。今年のテーマは免疫を高める「食」と「農業」。日本豊受自然農の由井寅子代表は、食と免疫と農業をテーマとしたことについて「食や環境、薬やワ

クチンが原因で生じている病気は、不自然なものを体に入れることを止めない限り、治癒しない。同じものを食べても病気になる人もいれば病気にならない人もいる。この違いは免疫力の違いであり、人間が本来備えている免疫力を強めることが大切。農業、食、免疫力。この三つがうまくまわることで、病気を作らない、本来の健康な生活を取り戻すことができる」と、この狙いを語った。

来賓講演者の一人である安保徹・新潟大学名誉教授/医学博士は「農業の近代化で生産効率は上昇したが、農薬漬けで土本来の生命力は衰えている。この土か



熱気にあふれるシンポジウム会場

ら出来る農作物のミネラルも少ない。今こそ、日本古来の自然農法が必要」と力説した。

農業生産法人 日本豊受自然農株式会社
<http://toyoke.com/company>